

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

テクノロジーの革新と日本的美学および感性

研究テーマ名

響き合う空間、励起される美意識

責任機関

国立大学法人東京芸術大学

研究実施期間

平成29年10月～平成32年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	古川 聖	東京芸術大学・美術学部・教授
分担者	藤井 晴行	東京工業大学・環境・社会理工学院・教授
分担者	茂木 一司	群馬大学・教育学部・教授

配分（予定）額

（単位：円）

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
2,925,000	3,919,500	4,179,500	2,064,400

※平成30年度・平成31年度・平成32年度については予定額

研究目的の概要

研究代表者である古川は作曲を専門とするが建築や空間設計を専門とする藤井と共に、日本庭園空間の体験と音楽体験の美的認知、美的感受の比較から、そのモダリティーを変換表現するシステム（CG/作曲システム）を立ち上げ、研究と表現行為を並行して行ってきた。本研究はこの横断的な研究をさらに広げ、ワークショップという方法を用い研究を外部一般と接続し、その中で（日本的な美もふくむ）美的なモノの今日的な有り様、意義を明らかにしようとするものである。

研究計画の概要

1) まずワークショップで使う特殊楽器の制作と同時に2) それを使った空間音描画（音源の空間内の素早い移動による一種の錯聴）の野外、大空間での検証、そのメカニズムの最適化をおこなう、次に 3) それらを使ったワークショップのデザインと参加者募集 4) ワorkshopの実施と公開プレゼンテーション 5) 参加者をふくめた研究会の開催とその成果のWEBにドキュメントを公開、データの整理、解析、3)～5) を4回繰り返したのち、6) 最終年度に展覧会と小冊子の制作をおこなう。